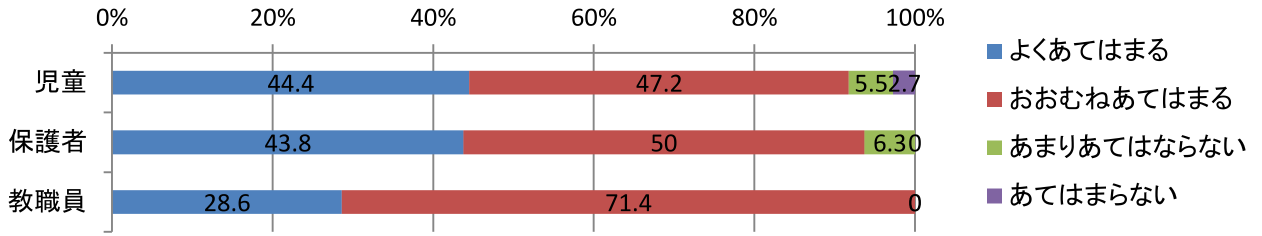
平成２９年度
前期学校評価

京都市立楽只小学校

学校評価分析

1　子どもにとって，学校は楽しみな場所である。

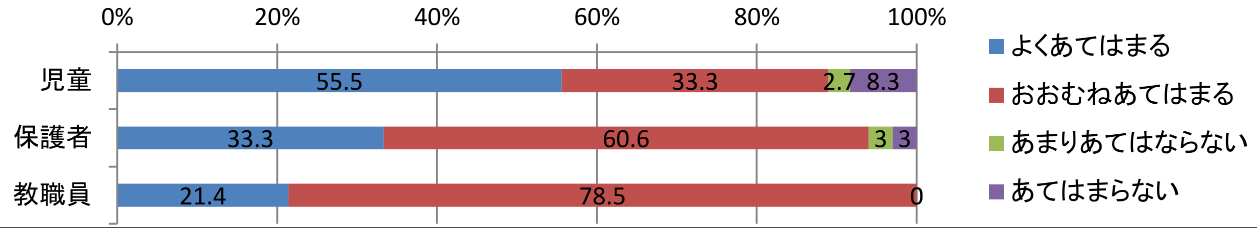
	よくあてはまる	おおむねあてはまる	あまりあてはならない	あてはまらない
児童	44.4	47.2	5.5	2.7
保護者	43.8	50	6.3	0
教職員	28.6	71.4	0	0



子ども達からも保護者の方からも多数の肯定意見をいただいていることはうれしいことですが，子どもの数名が，楽しみではないと答えています。
子どもにとって，学校が楽しみな場所になる要素を考えると，安心できる場所で「友達とともに活動することができる」ことはもちろんですが，やはり「勉強がよくわかる」ことが最も大きな要因となると考えます。それは，自信となり，自己実現の力となります。実際，あてはまらないと答えた児童は⑤⑦⑧の設問にあまりあてはまらないと答えています。また，学年が上がるにつれて，色々な日があって，あまりあてはまらないと答えた児童もいました。また，⑬の設問にあてはまらないと答えた児童も，この設問に対して，あまりあてはまらないと答えています。学校では，放課後の補習やほっこりトークなど，一人一人の学力と心の成長をこまめに見取る取り組みをしているところですが，すべての子ども達が，学びを楽しめる学校となるよう，さらなる工夫をしていかなければならないと考えています。

2　子どもは，土曜学習や朝スポーツ，部活に進んで参加している。

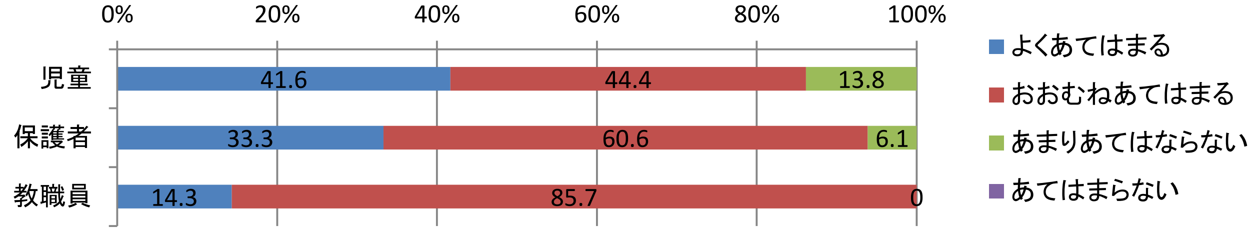
	よくあてはまる	おおむねあてはまる	あまりあてはならない	あてはまらない
児童	55.5	33.3	2.7	8.3
保護者	33.3	60.6	3	3
教職員	21.4	78.5	0	0



本校では，希望者に対して，漢字検定やプリント学習，体験学習などを取り入れた「土曜学習」，運動や文化活動に取り組み，他校とも交流をもてる「部活動」（サッカー・タグラグ・バレー・総合運動部・和太鼓部），また，１日の学習が始まる前に，全校児童で楽しむ「朝スポーツ」を行っています。
教職員からは，子どもたちみんなが進んで参加しているように見えていましたが，何人かの１年生が，「進んでではない」と答えました。「朝スポーツの走る時がしんどい」という理由がほとんどで，なかよしグループで力を発揮したいけれども，がんばりすぎてしんどくなっているようです。保護者の方からも数件同じようなご意見がありますので，きっと子どもたちの話を聞かれたり様子をご覧になった上でのご意見だと思います。朝から体を動かすことで，学びのスイッチが入り，体力もつくことを期待して取り組んでいますが，子どもたちにとって魅力的な活動となるよう工夫しながら支援していきたいと思います。

3　子どもは，きまりやルールを守れている。

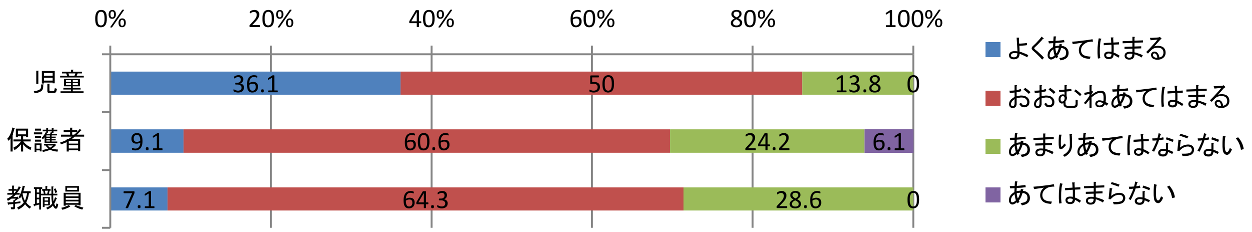
	よくあてはまる	おおむねあてはまる	あまりあてはならない	あてはまらない
児童	41.6	44.4	13.8	0
保護者	33.3	60.6	6.1	0
教職員	14.3	85.7	0	0



教職員から見て，本校の子どもたちは，とても素直で決めたことは守ろうとする子達です。でも，子どもたちの中の数名は，決まりをあまり守れていないと自己評価しています。自分のことを厳しく評価している子でしょうか。それとも，ここで反省するような経験をしている子でしょうか。いずれにしても，自分のことを正直に答えてくれました。
保護者の方の回答を見ると，過半数が「おおむね」となっております。「きまり」を守ることにもいろいろなレベルがあります。みんながするから，しないと叱られるから，大人にしなさいと言われたから，みんなで決めたことだから，きまりはみんなのものだから，など。子どもたちのレベルを見て「おおむね」と答えられているのではないでしょうか。教職員も大半が「おおむね」と感じています。きまりを守ることについての子どもたちの内面の成長を見守っていきましょう。

4　子どもに，先生や友達の話を聞くなど，聞く態度が育っている。

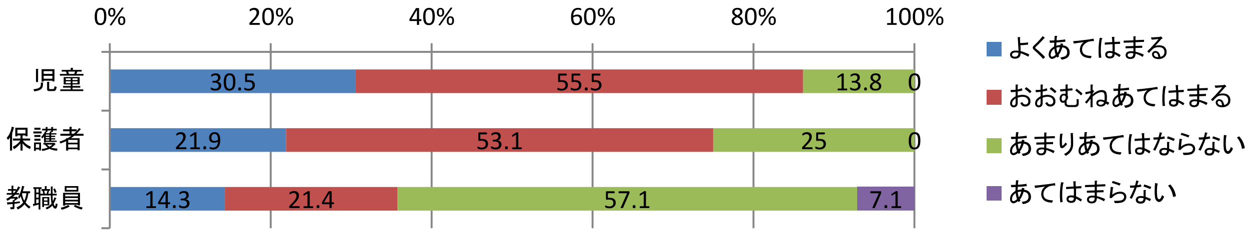
	よくあてはまる	おおむねあてはまる	あまりあてはならない	あてはまらない
児童	36.1	50	13.8	0
保護者	9.1	60.6	24.2	6.1
教職員	7.1	64.3	28.6	0



「聞く」ということはとても大切な学習です。しかし，子どもの数人が，あまりできていないと自己評価しています。保護者の方と教職員が実現度△とした割合は，ともに子どもより多く，◎にした大人の割合は，ずい分低い結果になりました。子どもが自分の姿を客観的に評価するのは難しいのと，自分自身では聞くことに意識をもって学習しているのでしょう。それぞれの場面で「聞く」が○になるモデルの提示を工夫し，ともに同じレベルで「聞くことがよくできる」目標に向かいたいと思っています。

5　子どもは，思いや考えを進んで話せるようになっている。

	よくあてはまる	おおむねあてはまる	あまりあてはならない	あてはまらない
児童	30.5	55.5	13.8	0
保護者	21.9	53.1	25	0
教職員	14.3	21.4	57.1	7.1

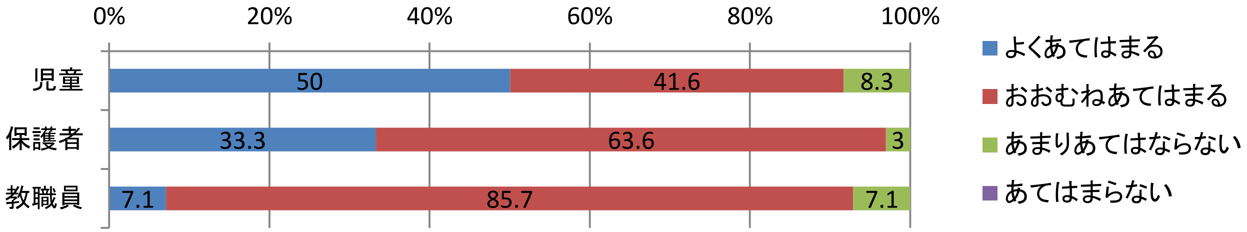


「話す」ことについては，さらに様々な力が必要です。様々なことを感じ，考えていても，それを言葉を通じて相手に伝えることは，大人でもなかなかできることではありません。文章力はもちろん，まずは語彙力。何と言っていいか言葉が分からなければ話すことはできません。教職員の大半が，話せるようになっていないと評価していることは，これがまさに，本校の子どもたちに今一番つけたい力であるからです。本校では，昨年度から国語科の研究を通して，子どもの言語活動がどうすれば豊かになるかを探っています。語彙力を付け，話す理想の姿をイメージし，自分の考えを相手に伝える力をつけていってほしいと思っています。

今年は，６年生の代表者が「京（みやこ）キッズ会議」に参加し，他校の大勢の人の前で「地域の高齢者との交流」について堂々と発表しました。また，朝会や児童集会でも，子どもたちがお互いの考えを伝えあう機会を増やそうと取り組んでいます。

6　子どもは，友達と仲良くできている。

	よくあてはまる	おおむねあてはまる	あまりあてはならない	あてはまらない
児童	50	41.6	8.3	0
保護者	33.3	63.6	3	0
教職員	7.1	85.7	7.1	0

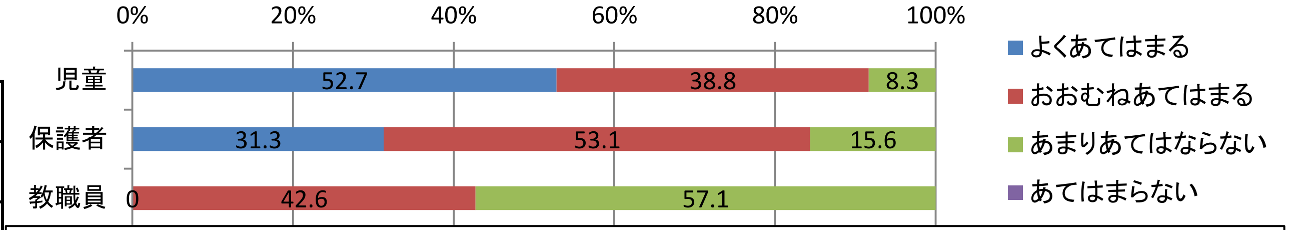


子どもたちの半数は，とても仲良くできていると自己評価しています。保護者の方が感じられる実現度もよいものです。教職員は，おおむねあてはまるという項目が大多数でした。本校の子どもたちは，素直で優しい子ばかりですが，様子を見ていると「子ども同士の言葉づかい」が気になります。一見仲よさそうに見えますが，許してくれる友達に助けられているなあと感じられる場面が多く見られます。悪気は無かったとしても，口から放たれたトゲのある言葉は，相手を深く傷つけます。逆に，思いやりのある言葉は，相手を癒し，場の空気を優しくします。

道徳などの時間を大切にし，日常の自分を振り返り，友だちについての思いを深化させていってほしいと思っています。

7　子どもは，授業の内容を理解している。

	よくあてはまる	おおむねあてはまる	あまりあてはならない	あてはまらない
児童	52.7	38.8	8.3	0
保護者	31.3	53.1	15.6	0
教職員	0	42.6	57.1	0



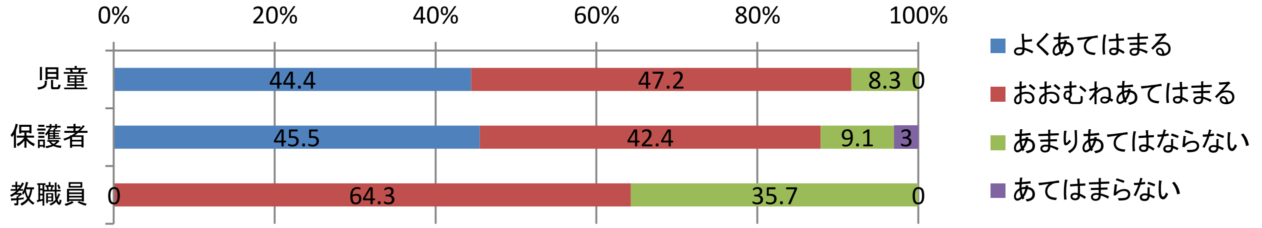
数人の子どもが，勉強がしっかりとは解っていないと答えています。教職員は「よくあてはまる」を選んだ者がありませんでした。授業の中では理解したように見えても，時間がたつと定着していないということがあります。雪に例えると雪だるまのように，学んだことが積み重なっていくのではなく，バラバラの雪となって溶けていくような危機感を持っています。

あまりあてはまらないと答えた子は，みんな，⑧の家庭学習についての質問にも，あまりあてはまらないと答えています。新しいことを身に付けていくには，くり返しの練習が欠かせません。宿題や家庭学習という毎日の積み重ねがとても大事なのです。高学年になっても，大人のそばで一緒に学習することは大切なことです。

学校では，子どもたちの心に留まる授業を工夫していくこと，そしてそれを活用する場面をつくっていかなければならないと考えています。家庭と学校とが協力して，子どもたちの知的な欲求を高めていきたいと考えています。

8　子どもに，家庭学習の習慣が身についている。

	よくあてはまる	おおむねあてはまる	あまりあてはならない	あてはまらない
児童	44.4	47.2	8.3	0
保護者	45.5	42.4	9.1	3
教職員	0	64.3	35.7	0



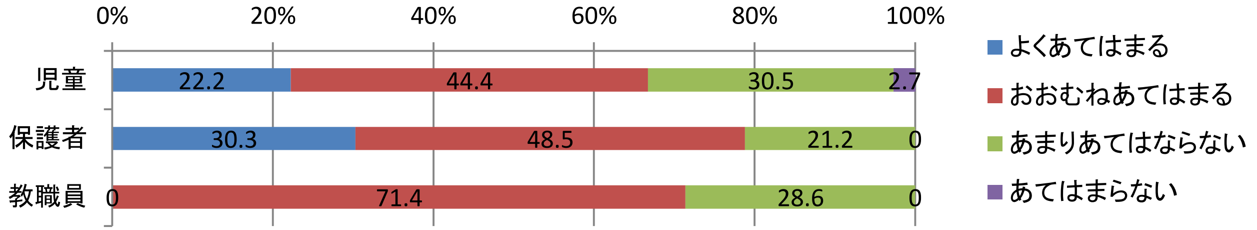
本校では，年度当初に「平成29年度　楽只小学校　家庭学習の手引」を各家庭に配布しています。その中に各学年で身に付けたい学習の内容やご家庭で支援していただきたいことが書かれています。

いくら新しいことを学んでも，それを受け入れ馴染んでいくことなしには，自分にとって使える道具とはなりません。何事にも練習が必要です。毎日の家庭学習の目安は学年×15分と言われています。

宿題が早く終わった日には，学校で配られている資料集や地図帳，また，教科書のトピックなどを読んでみましょう。時間をつくって保護者の方もご一緒に。きっと面白い発見がありますよ。

9　子どもに，「早寝・早起き・朝ご飯」の習慣が身についている。

	よくあてはまる	おおむねあてはまる	あまりあてはならない	あてはまらない
児童	22.2	44.4	30.5	2.7
保護者	30.3	48.5	21.2	0
教職員	0	71.4	28.6	0

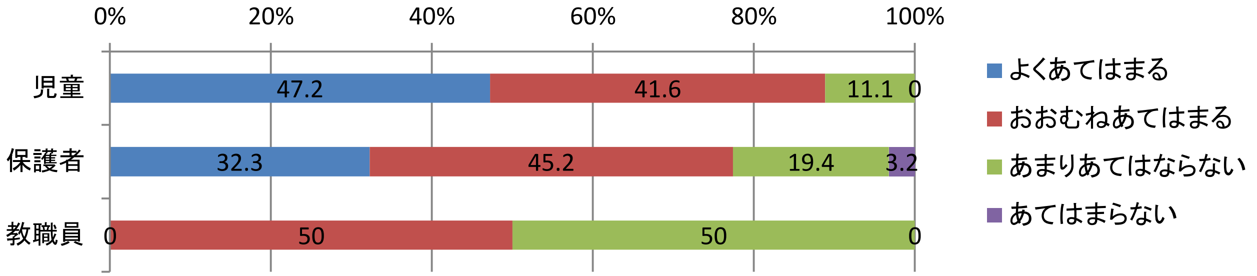


3割の子どもが「早寝・早起き・朝ご飯」の習慣が身についていないと自己評価しています。「早寝・早起き・朝ご飯」の前後には，実は大切な項目が隠れていると思います。前には「宿題・自分の仕事・入浴・歯みがき」，後には「よく遊び，よく学べ」といったところでしょうか。すべてがつながっているので，今回できていないと答えた子は，もしかすると前の日の時間の使い方が問題の要因となっているのかもしれません。

昨今，ゲームやインターネットツールなど子どもの依存症を誘発しかねないものがあふれていますが，大切なこの時期に健全な生活習慣が身に付けられるよう，家庭と学校との連携した取り組みが大切だと感じています。

10　子どもは，進んであいさつができる。

	よくあてはまる	おおむねあてはまる	あまりあてはならない	あてはまらない
児童	47.2	41.6	11.1	0
保護者	32.3	45.2	19.4	3.2
教職員	0	50	50	0



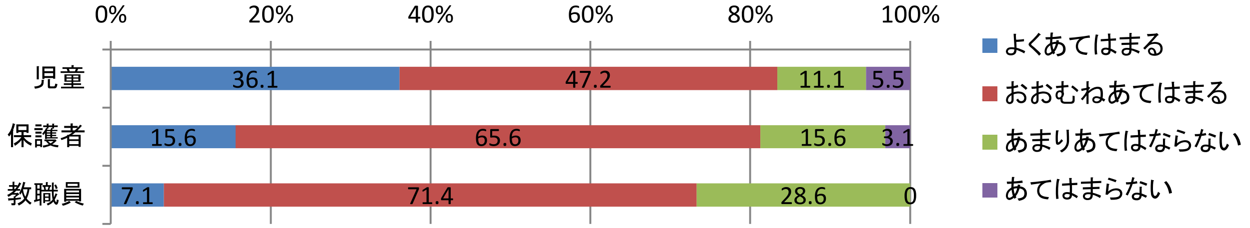
子どもたちの9割は，あいさつができている方だと思っているようです。保護者の方では2割強の方があまりできていないと評価されています。教職員は，おおむねできる・おおむねできないが2分しています。

学校では，職員室に入るときと出るときには，決まったかたちの挨拶をしますが，友だち同士であいさつを交わしたり，自分から進んであいさつをする姿をあまり見かけません。

5番の項目同様，「声に出して表現する力」をもっともっと育てたいと考えています。

11　子どもは，健康に気をつけている。

	よくあてはまる	おおむねあてはまる	あまりあてはならない	あてはまらない
児童	36.1	47.2	11.1	5.5
保護者	15.6	65.6	15.6	3.1
教職員	7.1	71.4	28.6	0

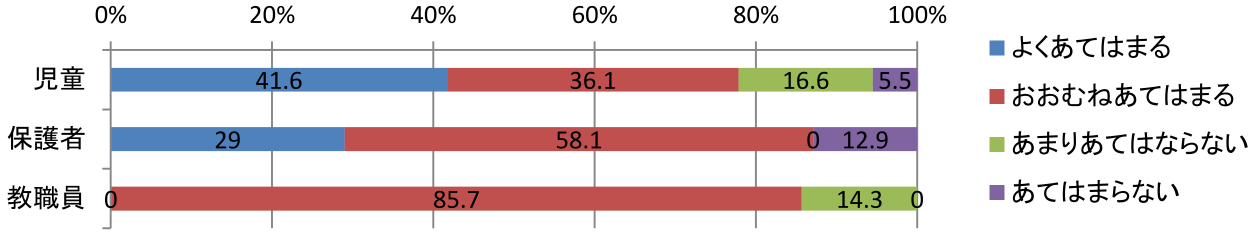


数人の子どもが，「健康に気をつけていない」と答えています。学校では，5年生から保健の学習が始まります。それまでは，主に，保健の日に行う保健指導や，発育測定の時に行う保健指導で，健康について学んでいます。気をつけていないと答えた子は，⑨の質問に芳しくない答えをしています。そうしたことが大切であるということは，よくわかっているのだと思います。でも，様々な事情でできないことが多いのでしょう。

人間は生物学的に，健康な状態を保とうと，見えないところで病気や外からのダメージと常に戦っています。また，義務教育のこの時期は，人生の中のサナギのような時期で，将来のために体に悪いものはできるだけ遮断し，体に良いものはしっかりと摂取することが大切です。子どもたちにも自分の体の大切さを自覚し，現在・未来にわたって自分の体を大切にする方法を身に付けてほしいと思っています。

12　子どもは，学校であったことを家庭で話している。

	よくあてはまる	おおむねあてはまる	あまりあてはならない	あてはまらない
児童	41.6	36.1	16.6	5.5
保護者	29	58.1	0	12.9
教職員	0	85.7	14.3	0



学年にもよるかもしれません。あまり話してないと答えた子どもは2割です。保護者の方からいただいた実現度でも，1割強の方が全くできていないとおっしゃっています。

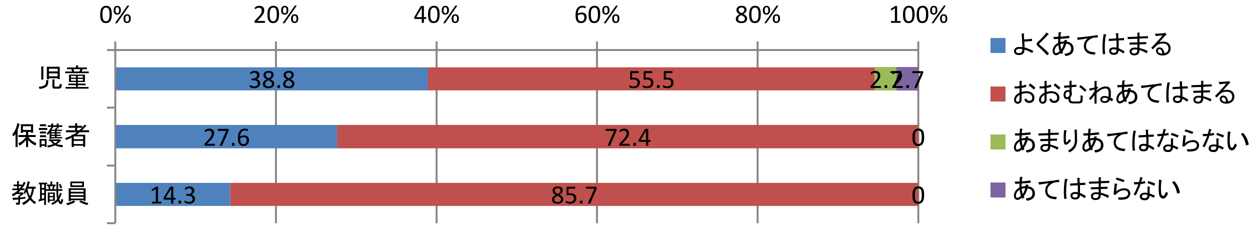
変わったことがないから話さないのかなと，安心することもできますし，話すほど感情が高ぶった体験がなかったのかなと考えることもできます。子どもも保護者の方も忙しくて，ゆっくり話すことができないのかもしれません。

しかし，これから先，子どもたちが思春期に入ったとき，本当に相談したいときが来た時のためにも，「あなたの話に興味があるよ」「いつも心配しているよ」というメッセージを伝え続けていただきたいと思っています。学校のお便りなども活用していただければと思います。

話すことは，⑤にも通じるように，脳を育てる大きな手段です。努めて子どもたちと会話をしていきましょう。

13　一人一人の子どもが，学校で大切にされている。

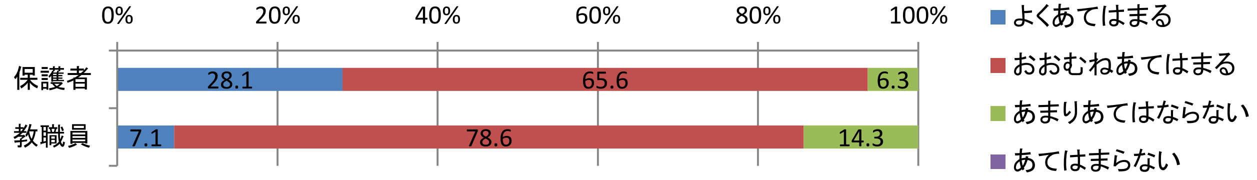
	よくあてはまる	おおむねあてはまる	あまりあてはならない	あてはまらない
児童	38.8	55.5	2.7	2.7
保護者	27.6	72.4	0	0
教職員	14.3	85.7	0	0



保護者の方が評価された実現度では，すべての方が，「よくあてはまる」もしくは「おおむねあてはまる」でした。教職員も日頃のかかわり方を自問しながら，それでも一定の自負をもっています。
しかし，児童アンケートには，「自分は先生から大切にされていない」と答えている子や「あまり思わない（分からない）」と答えている子がいます。自分でアピールできる子もいれば，外からは感情が分かりにくかったり，自分を引いてしまう子もいます。学校はこれを重く受け止めなければならないと考えています。
子どもの立場になって，子どもの目を見て，子どもたちが心から安心できる学習環境を用意することに努めていきたいと思っています。

14　学校での子どもたちの様子が，保護者にわかりやすく伝えられている。

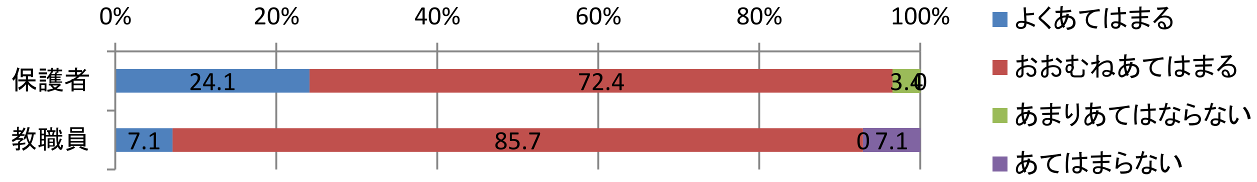
	よくあてはまる	おおむねあてはまる	あまりあてはならない	あてはまらない
保護者	28.1	65.6	6.3	0
教職員	7.1	78.6	14.3	0



保護者の方の実現度を見ると，多くの方に一定の高評価をいただいています。しかし，巻末の「保護者自由記述」にもお寄せいただいたように，ホームページの活発な更新を期待していただいています。学校での子どもたちの様子が発信されるのを楽しみにしてくださっていることにお応えできるような，各種お便りやホームページにしていきたいと思います。

15　学校の安全・防犯対策はしっかりできている。

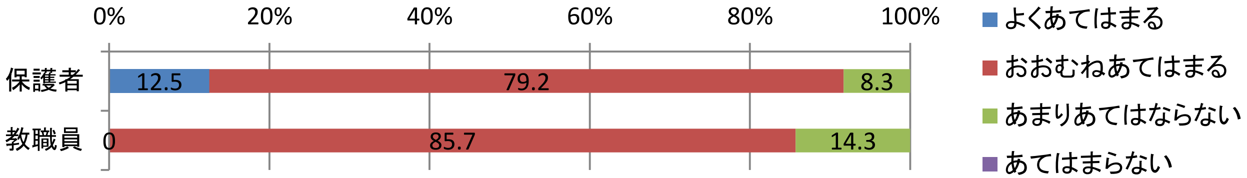
	よくあてはまる	おおむねあてはまる	あまりあてはならない	あてはまらない
保護者	24.1	72.4	3.4	0
教職員	7.1	85.7	0	7.1



保護者の方からは「あてはまらない」という項目は0という，高評価をいただきました。しかし「あまりあてはまらない」というご意見にはご示唆があると思います。教職員の中には「あてはまらない」という意見もありました。
学校では，地域のボランティアの方にもご協力いただき登校時の見守りを行っています。また，毎月防災・安全の日の朝に行う「一斉登校指導」や校内の安全点検，冬季の部活動後の見守りなど，登下校の安全にも気をつけているところです。
避難訓練は，地域の消防分団や北消防署，また北警察署にもご協力いただき，子どもたちの危機意識を喚起し，いざという時に備えています。
「天災は，忘れたころにやってくる」ということわざもあるように，安全に対する意識は常に最高レベルにしておかなければなりません。大切なお子様を預かっている学校はなおさらです。今年も，学芸会後には，非常時の引き渡し訓練を計画しています。

16　清潔で美しい学校環境が整っている。

	よくあてはまる	おおむねあてはまる	あまりあてはならない	あてはまらない
保護者	12.5	79.2	8.3	0
教職員	0	85.7	14.3	0



教職員からは「よくあてはまる」と言う意見がありませんでした。もっとできるはずという，自分たちへの反省です。しかし「あてはまらない」が保護者からも教職員からも0であることは，とてもうれしいことです。
創立144年目を迎える学び舎に，いつも新鮮な空気が流れるような環境を整え，子どもたちの安全な学び舎として大切にしていこうと心がけています。

保護者自由記述より

〇少人数の環境の中で，自信をつける経験をたくさん積み重ねられているので，我が子には恵まれた環境だと思っています。

〇友人関係で小さなもめ事があったけれど，丁寧に対応してもらえてよかったです。

〇和太鼓の練習時，帰る時間が遅くなるので，心配である。

〇児童数が少ないのが気になります。

〇先生方もお忙しいのはよくわかっているのですが，ホームページの更新が遅かったり，更新されなかったり・・・が気になります。

アンケートへのご協力，ありがとうございました。